

南砺市菘谷公民館

◆事業の目的

子供の頃から体を使って実際に農作業を経験することで、農業の大変さを知ると共に、食べ物を大切に作る気持ちを養う。また、自分で育てた野菜を収穫する喜びと新鮮な野菜の美味しさを実感する。

◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
5月29日(日)	甘瓜の植え付け	菘谷圃場	27名
6月5日(日)	甘瓜の防除	菘谷圃場	4名
8月6日(土)	甘瓜の収穫	菘谷圃場	21名

◆事業の様子

☆ 甘瓜の植え付け

当日は晴れていたが、前日の大雨により圃場がぬかるんでいたため、子供たちの長靴が土に埋まり、歩くのも大変であった。最初に各自持参したハンドシャベルで、苗を植えるための穴を開け、次に肥料を入れ最後に苗を植える作業を行った。「力を入れ過ぎないように愛情を注ぎながら植えよう」の注意を守って最初は恐る恐る植えていたが、2～3回繰り返すうちに、力の入れ方がわかったようでスムーズに出来るようになった。最後に風除け用の網を親子でかけ作業は、終了。



☆ 甘瓜の防除

5月は雨が多かったため、予定していた途中の水やり作業の必要はなく行わなかった。防除作業は、今回農薬を噴霧する作業になり、子供たちには危険だと考え、子供の参加を呼びかけず大人のみで作業を行った。



☆ 甘瓜の収穫

子供たちに収穫の楽しさや喜びをより味わってもらおうと、今回宝探し方式での収穫を考案。大きく育った葉っぱの陰に隠れた甘瓜を誰が沢山見つけられるか？競争をした。最初に甘瓜に傷などつけないように約束したので、子供たちは、逸る気持ちを抑えながら慎重に優しく草や葉っぱをよけ甘瓜探しを夢中で楽しんでいった。立派に育った甘瓜を見つけた時には、大きな歓声があがり、大人も子供も一緒に収穫の喜びを味わった。



◆事業の成果と課題

農作業の体験は、生育状態等が天候により大きく左右されるため、作業を行う日程を決める事が難しい。そのため、急な案内になる事が多く特に夏休み中の事業では、旅行や他の行事が重なり参加者確保が課題。しかし、体験に参加した子供たちは、大変な作業に疲れた様子をみせながらも、一つの仕事をやり遂げた満足感や収穫を楽しみに待つ喜びを味わえたと思う。今後も子供たちが農業に少しでも関心を持ち、食べ物を大切に作る気持ちをもち続けて欲しい。今後もこのような事業を続けたい。